

(4) 企画展示等実施計画について

平成20年度事業（展示関係）実施計画

1. 企画展

・春のこどもの読書週間企画展

『読みつがれる本―「こどもの読書週間」50年―』

期日 平成20年4月18日（金）～5月11日（日）

場所 山形県立図書館1Fフロア

内容 昭和34年から始まった「こどもの読書週間」も今年で50回目を迎えることとなり、また、今年が平成20年と区切りのいい年に当たる。そこで、昭和30年代、そしてこれまで読み継がれている本などを中心に、下記の内容で展示。

1. こどもの読書週間が始まった昭和30年代

「昭和30年代」の時代が見て分かる本や各年のベストセラー

2. 読み継がれている本

販売累計100万冊以上の絵本

各年代ごとの初版本

3. 国語の教科書に掲載された作品

光村図書、教育出版から

4. 読書感想文コンクール課題図書

平成元年からの課題図書

・秋の読書週間

『2007～2008 県内出版物展』

期日 平成20年10月17日（金）～11月15日（土）

場所 山形県立図書館1階フロア

内容 前年10月から1年間に出版された県内出版物や、県人及び県関係者の著作物約1,000点および逐次刊行物約300タイトルと、県人や県関係者の受賞作品などを展示・紹介。

・秋の読書週間企画展

『新海竹太郎 没後140年・平塚英吉 没後120年記念展』

期日 平成20年10月17日（金）～11月15日（土）

場所 山形県立図書館1、2階フロア

内容 新海竹太郎は山形市出身の彫刻家、また、平塚英吉は新庄市出身の農芸化学者で、両名とも県人文庫22名の一人として常設展示されていますが、今年、没後の記念年に当たることから、生涯学習などに資するため、当館所蔵の普段見ることができない多数の資料を展示しながら、その業績などを紹介。

2. テーマ別展示 平成20年度は「いのちを語る」を展示テーマとした。

昨今の社会情勢から、人の命が余りにも粗末に扱われてないかという危惧がある。生きることはどんなことか、命を全うするとはどんなことかを、図書館の蔵書を通して考えて欲しい。

(1) 一般向け 場所 山形県立図書館1Fフロア

「いのちを語る」を基本テーマとし、以下のテーマで展示予定。

・「食育」(6/6～6/28)

「病は気から」おいしいものを食べるとそれだけで寿命が延びると昔から言われている。食を通じ子どもたちが育ち、食べることで人間ができていく。安全な食物、薬になる食物を「命を育てる」観点から展示する。

「食育講座」の開催

期日及び場所 6月14日(土) 遊学館内

講師 教育庁 スポーツ保健課 齊藤るみ主査

内容 受講者におにぎりを持参してもらい、昼食をはさみながら食の大切さについて講義をする。

・「世界遺産提案—最上川の文化的景観—」(6/20～7/22)

世界遺産登録に向けて県民意識の醸成と情報発信を図るため、文化遺産課の要請に基づき特集コーナーを設置し、最上川の文化遺産に関連する資料を展示する。

・「裁判員制度」(7/4～7/27)

裁判員制度は平成21年5月から始まるが、裁判員が参加するのは刑事事件の中でも特に刑罰が重いものとなっているため「命の重さ」をサブテーマとして資料を展示する。

「裁判員制度」の説明会

期日及び場所 7月13日(日)及び19日(土) 遊学館内1階ロビー

講師 山形地方裁判所職員

・「格差社会」(8/1～8/24)

バブル崩壊とともに言われ始めた格差社会。厳しい競争社会の中で、今を生きる若者たちが未来に夢を描けるのか、「いのちの彩」について考える。

・「男女共同参画」(9月～10月)

命のはじまり(出産、子育て)を通して、「命の芽吹き」のすばらしさ、男女共同で命を育む大切さについて紹介する。

・「伝統を守る」(12月)

日本古来の伝統行事に関する本や県内各地に伝わる郷土芸能の資料を通じ、先人から伝えられた人生を生きるため技を紹介するとともに、正月などには息抜きも大事なことを紹介する。

・「若い人に贈る読書のすすめ」(3月)

この春人生の新たな一步を踏み出す若者に向けて、読書推進運動協議会の「若い人へ贈るおすすめ本」のほか、生きる希望と夢が紡げるような本を紹介。

(2) 児童向け 場所 山形県立図書館2Fフロア

- ・ 「科学の本」(6/6～6/28)
読み聞かせ初心者の方におすすめの写真絵本など、読み聞かせの選書の参考になるものを中心に。
- ・ 「自由研究・工作に役立つ本」(7月～8月)
「読書感想文課題図書」
「夏休みおすすめ本」
2007年出版の本の中から。
- ・ 「第24回選定よい絵本」(9月)
全国学校図書館協議会で選定する「よい絵本」(7月発表予定)から。
- ・ 「ナンセンス・くりかえし・つながっていくお話」(12月)
奇想天外なお話や、ことばの繰り返しなどで声に出して読んで楽しい本を中心に。
- ・ 「だいすき」(2月)
家族、友達、色々なものに対する「愛」の本

3. 出前展示 山形県等が行うイベント事業などで関連する図書の展示

- ・ イベント名 「子育て応援団 すこやか 2008」
- ・ 期 日 5月31日(土)～6月1日(日)
- ・ 主 催 子育て応援団実行委員会、山形新聞・山形放送
- ・ 内 容 山形県のブースの一角に図書館の絵本など子育てに関連する図書を展示。

今後も様々なイベント事業の際に、可能な限り出前展示を行い、相乗効果を図って行きたい。

(5) 子どもの読書活動推進支援について

1 県立図書館の児童サービス

(1) 児童室を有していない

- ① 子どもや親子連れで気軽に来館できない構造的限界
- ② 親や図書館職員が読み聞かせ等の直接サービスができない

⇒ 幼児や小中学生の来館利用の少なさ（別記1参照）

- ③ 児童書のテーマ別展示の実施
- ④ 近隣小学校への特別貸出

(2) 市町村図書館の児童サービスへのバックアップ

- ① 児童書の特性から資料の相互貸借やインターネット予約では対応できない。
- ② 市町村図書館の児童サービスの中心を担っている読み聞かせ等の団体の活動を支援していく必要性

⇒ 平成4～6年度 「おはなし技術者養成講座」（幼児教育中心）

⇒ 平成15～17年度 県内小中学校でのブックトーク実践

2 市町村立図書館（室）等の児童サービス

(1) 平成16年12月の「読み聞かせ団体等実態調査」によれば、県内の全ての市町村において110の読み聞かせ団体等が活発に活動しており、市町村立図書館を中心に“おはなし会”等を開催したり、最近では学校での“朝の読書の時間”での読み聞かせやブックトークの活動を展開している団体もある。文部科学大臣賞表彰を受けた団体も多い。

(2) 市町村立図書館の学校（図書館）に対する巡回貸出や団体貸出も活発に行われており、定期的に学校関係者との協議の場を持っている図書館もある。

(3) 調べ学習や総合学習で、生徒にテーマを与えて公立図書館を利用して調べさせたり、あるテーマに関する所蔵資料リストの作成を依頼する学校が増えている。

(4) 市町村の教育委員会が学校と市町村立図書館の間で子どもの読書活動をコーディネートする“読書活動推進員”“図書館支援業務員”を委嘱するケースもある。

(5) 学校支援地域本部事業等の動きがある。

(6) 中高生向けのYA（ヤングアダルト）やライトノベル等のコーナーを設置している図書館等もある。

3 その他の子どもの本と読書をめぐる県内の動き

(1) 鶴岡市立朝陽第一小学校の「図書館活用教育」の実践（平成15年 学校図書館大賞）

(2) 平成17～19年度 県生涯学習センターが読み聞かせ等の養成プログラムを作成し、市内の小中学校での養成講座を試験的に実施した。

(3) 絵本フェスティバルが毎年開催されている。

- (4) 県図書館協会では、今年度から「子どもの読書活動の推進」をテーマとして、県内公立図書館だけでなく、学校図書館や読み聞かせ団体等との連携をも視野に入れながら協議を重ね、来年度以降の県図書館協会の同テーマに関する事業計画を作成する予定。
- (5) 県教育委員会主催の「図書館講座」の中で7月4日に開催されるパネルディスカッション「公立図書館と学校の連携による子どもの読書活動の推進」において、上記活動事例の発表と関係者の連携をめぐる意見交換が予定されている。

4 子どもの読書活動推進法以降の国の動き（別記2参照）

- (1) 子どもの平均読書冊数の増加や不読者率の減少
- (2) 小→中→高になるにつれ不読者の割合が高まる傾向
- (3) こどもたちの読解力の低下

⇒上記2、3の実態を調査し、上記4の全国的な動きも考慮にいれながら、読み聞かせ等団体や教育関係者との協議のなかでそれぞれが何をすべきかを確認し合い、県立図書館としての効果的連携の方途を探っていききたい。

5 現時点で考えられる今後の事業例

(1) 養成講座事業計画作成（図書館協会主催）

- ①ブックトークの実施（自立した読者＝未来の図書館利用者の養成）
- ②パスファインダーの作成（調べ学習）
- ③主題別児童書リストの作成
- ④図書館活用教育の実施
- ⑤団体貸出・巡回貸出の実施
- ⑥YA コーナーの設置
- ⑦体験学習の受入れ

⇒研修事業の整理の必要性（図書館講座、県図書館協会・ブロック別研修会、事務担当者会議・研修会）

(2) 主題別絵本リスト作成配布（県立図書館）

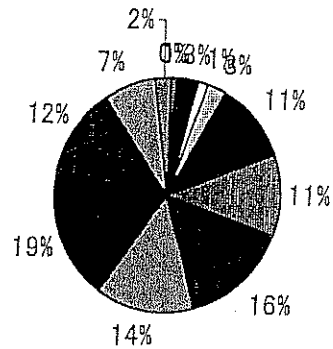
⇒絵本リストから読み物リストへ

- (3) セット貸出制度の実施（対高等学校）
- (4) 学校支援の先進事例の紹介
- (5) 県立図書館 HP での子ども向けページの開設（読み聞かせ等団体の紹介等）

年齢別貸出人数(2007年度)

年齢	貸出人数	割合
0~6歳	419	1%
7~12歳	1,505	3%
13~15歳	592	1%
16~18歳	1,363	3%
19~22歳	5,413	11%
23~29歳	5,503	11%
30~39歳	7,392	15%
40~49歳	6,922	14%
50~59歳	8,932	18%
60~69歳	6,024	12%
70~79歳	3,620	7%
80~89歳	1,073	2%
90歳以上	21	0%
計	48,779	100%

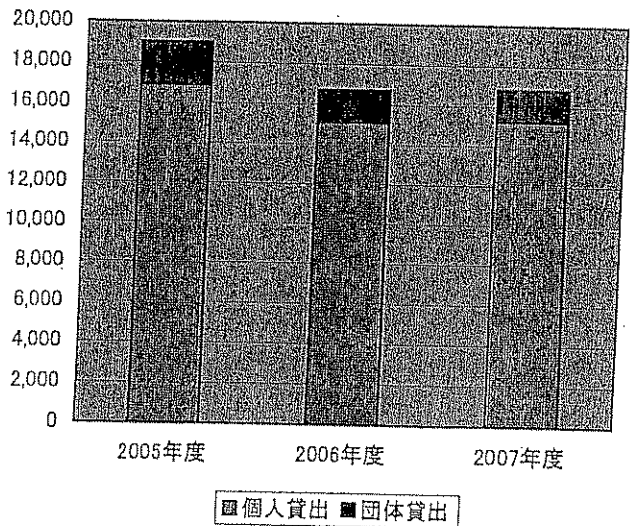
年齢別貸出人数(2007年度)



年齢別児童資料貸出冊数

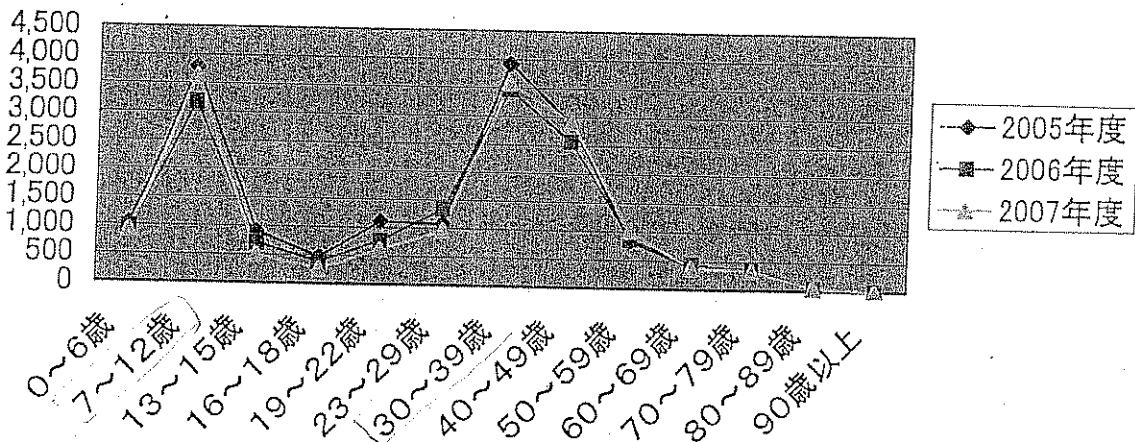
	2005年度	2006年度	2007年度
個人貸出	16,867	15,091	15,228
団体貸出	2,129	1,625	1,596
計	18,996	16,716	16,824

児童資料貸出冊数



年齢	2005年度	2006年度	2007年度
0~6歳	1,035	977	922
7~12歳	3,792	3,170	3,634
13~15歳	910	709	504
16~18歳	477	389	263
19~22歳	1,102	772	616
23~29歳	1,084	1,349	962
30~39歳	3,921	3,456	3,585
40~49歳	2,884	2,564	2,914
50~59歳	840	866	1,022
60~69歳	401	438	378
70~79歳	354	353	348
80~89歳	45	39	49
90歳以上	0	0	1

年齢別児童資料貸出冊数



子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第二次）の概要

第一次基本計画期間における取組・成果

- ・全道府県において「子どもの読書活動推進計画」が策定
- ・12学級以上の学校における司書教諭の発令が進む
- ・学校におけるボランティアの増加
(H14度:35%→H18度:70%)
- ・不読者率の減少 (中学生 H13度54%→H19度37%)
- ・公立図書館における児童への貸出冊数の増加
(H13度:125百万冊→H16度:135百万冊)
- ・全校一斉読書活動を行う学校の増加
(H14度:74.3%→H18度:84.2%)

第一次基本計画期間における課題

- ・依然、中・高になるにつれ不読者の割合が高まる傾向
(H15度 小:28.3%,中:47.9%,高:61.3%)
- ・依然、地域における取組の差が解消されていない
(H17年、公立図書館の設置率 市区:98%、町:54%、村:22%)
- ・学校図書館資料の整備が不十分
(H17度末 学校図書館図書標準達成状況 小:40.1%,中:34.9%)
- ・子どもたちの読解力の低下
(OECD生徒の学習到達度調査PISA2006 57カ国中15位)

子どもの読書活動をめぐる情勢の変化

- ・教育基本法、学校教育法の改正
- ・文字・活字文化振興法の成立
- ・図書館法の改正に向けた動き
- ・情報化社会の進展
- ・地方分権の進展

主な改定のポイント

(H203～)

- 主要施策の数値目標化
- 国、地方公共団体、関係機関等の連携体制を強調

- 第一次基本計画における成果と課題等を整理
- 家庭・地域・学校の取組に再構成

【家庭における取組】

- ・家庭教育に関する講座等を通じた保護者に対する理解の促進
- ・家庭における読み聞かせなど、読書活動に資する情報提供の推進

【地域における取組】

- 子どもの読書環境の地域格差の改善
 - ・市町村推進計画の策定率24%⇒50%以上
 - ・公立図書館未設置市町村の解消に向けた取組
 - ・児童室等の整備の推進
 - ・移動図書館によるサービス向上
- 公立図書館の情報化の推進
 - ・図書館のHP開設率56%⇒本館数の90%以上
 - ・来館者用コンピュータ設置率100%
 - ・オンライン閲覧目録(OPAC)導入率100%
- 公立図書館に係る人材の養成
 - ・図書館ボランティア7万人⇒10万人以上
 - ・司書に対する研修の充実

【学校等における取組】

- 学校段階に応じた読解力の向上
 - ・言語力の育成に資する読書活動の推進
- 学校における条件整備
 - ・新学校図書館図書整備5カ年計画に基づき、学校図書館図書標準の達成の促進
- 【単年度200億円、5年間で1,000億円の地財措置】
 - ・司書教諭の未発令校への発令促進
(平成18年5月現在発令状況 59.9%)
 - ・学校における超高速インターネット接続率35%⇒概ね 100%